

新潟県内における急性肝不全の 予後改善を目指して ～Niigata ALF Network～

新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
山際 訓, 川合弘一, 高村昌昭, 上村顕也,
土屋淳紀, 横尾 健, 寺井崇二

新潟県内における急性肝不全診療の現状

■ 各医療圏での中核・基幹病院が中心

- 血漿交換を含む特殊治療に十分に対応可能な人数の消化器内科スタッフが揃う病院は少ない。

→ 急性肝不全診療は
時間的, マンパワー的に大変な負担



■ 新潟県内に肝移植施設が無い

- 肝移植が必要な重症例では, 各病院毎に移植適応を判断し, インフォームドコンセント取得, ドナー検索, 県外の移植実施施設に診療依頼, 患者搬送まで実施する必要がある。

→ 移植適応の評価などにおける移植専門医の関与の必要性

→ 肝移植実施までの円滑な診療連携構築の必要性

→ 新潟大学で移植再開の準備中

(消化器外科・若井教授, 消化器内科・寺井教授)

■ 急性肝不全診療の均質化と最適化

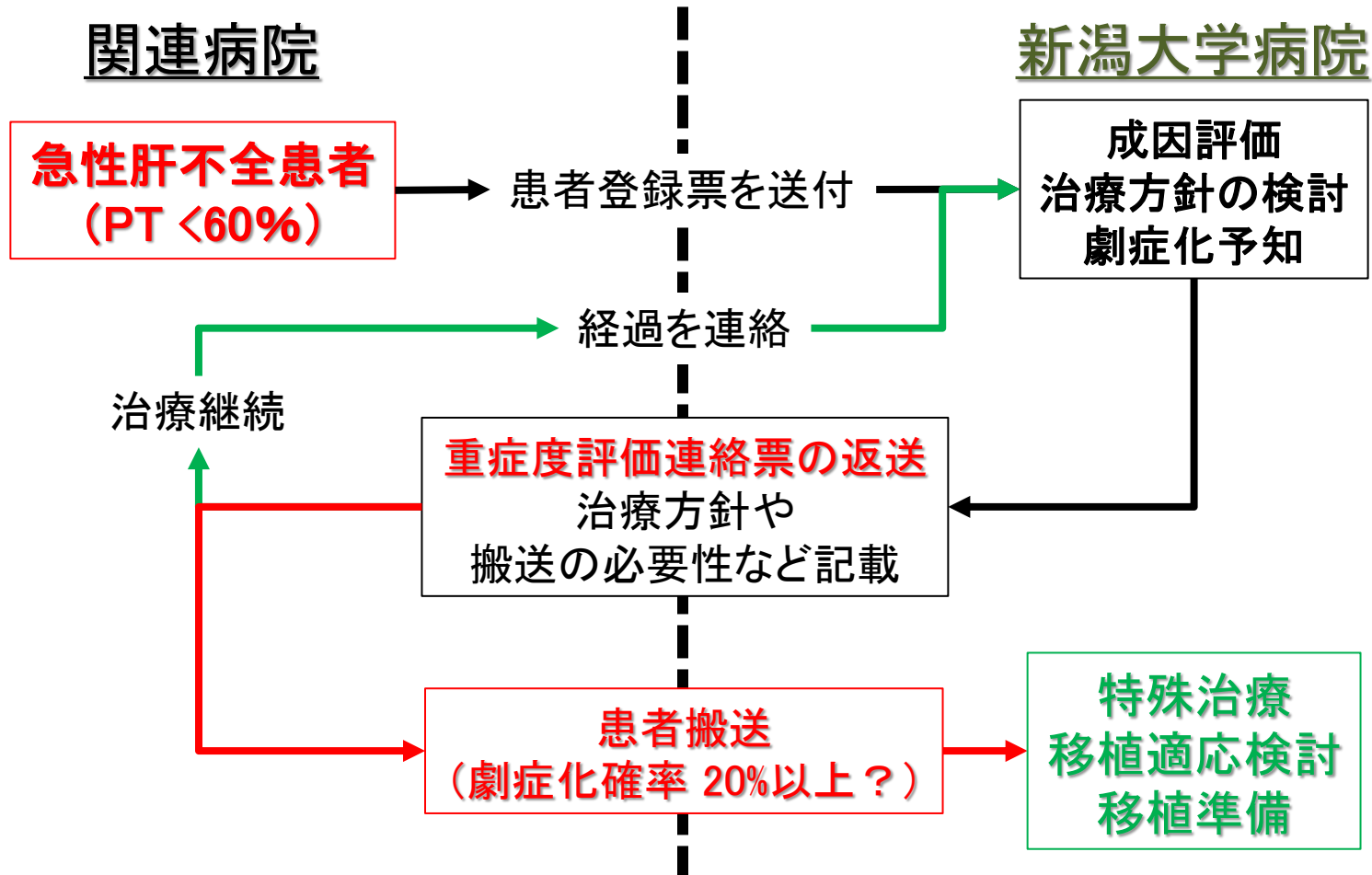
- 成因特定や治療方針などに関して，専門医の助言をこれまで以上に得やすくする.
- 新潟大学医歯学総合病院を最終搬送先とし，搬送基準の明確化により早期治療介入を可能にする.
 - 急性肝不全例の治療成績向上を目指す
 - 各病院の先生方のご負担を軽減する方向へ

■ 肝移植までの円滑な診療連携構築

- 移植外科医との診療チームにより，ステロイド使用に対する配慮など肝移植を前提の治療介入や，移植依頼先の病院との円滑な連絡や患者搬送を実施する.
 - 肝移植により救命される症例を逃さない！

新潟県におけるネットワーク案

- 岩手県を参考に、急性肝不全に特化したネットワーク整備





重症度評価連絡票

急性肝障害 重症度評価表

送信先: _____ 先生 FAX: _____

たとえ搬送にならなくても、その病院の先生の一存ではなく、
専門施設の判断を文章で確認した上での決定という形
→ 担当医のストレス軽減に！

T-Bil (mg/dl) : (_____) PT (%) : (_____)

予測劇症化確率 (_____) %

(20% : 専門施設搬送基準, 50% : 特殊治療開始基準)

アルコール症の場合: DF (_____)

重症度コメント

治療方針コメント

検査日: _____ 報告者: (_____) サイン (_____)

新潟大学 消化器内科学分野



ネットワーク整備に向けて

■ 新潟大学におけるIRB承認(平成27年8月11日)

- 「新潟県内における急性肝障害診療ネットワークの構築と急性肝不全の成因と予後に関する後方視的および前方視的観察研究」
 - ～ 成因分析や早期治療介入の効果などを多施設共同研究として検討
- 患者用説明文書・同意書, 患者登録票などは当科HPよりダウンロード可能

■ 消化器外科との移植チーム編成

- 今後の新潟大学での肝移植再開へ向けて, 本学消化器外科との連携を維持
- 東京女子医科大学・消化器外科 江川教授との連携を継続